

令和4年度（2022年度）

事業報告書

特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング

1 事業の成果

■病児等を育てる家族に対する生活支援事業

①お弁当 de スマイリング事業

2021年1月より始めた、地域の新たな助け合いの仕組みづくりを構築し、飲食店と協働して付き添い者に食事を届ける「お弁当 de スマイリング事業」。東京では聖路加国際病院、東京医科歯科大学病院、ドナルド・マクドナルド・ハウスせたがや、同ふちゅうの4か所で月1回定期的を実施し、今期に届けた弁当総数は1,110食、この事業に協力していただいた飲食店は20店舗になりました。2021年12月から始めた佐賀大学医学部附属病院でも、地元の農家から無償で提供された生産物を使って市内の結婚式場のシェフがお弁当（30人分）を調製し、大学生と当団体のスタッフが病院までお弁当を届けるという地域を巻き込んだ活動となりました。

新たな取組として、タケダウィルネス様から助成いただき、私たちが培ってきた「ミール de スマイリング」事業の仕組みを全国に普及することにより各地のNPO団体と協働しながら付き添い者の食に関する社会的課題を解決し、地域で病気の子どもとその家族を支えるサポーターを育成していくことを目指しました。

2022年度（新規助成1年目）は全国6か所（神奈川県立子ども医療センター、香川大学医学部附属病院・四国おとなとこどもの医療センター、ドナルド・マクドナルド・ふくおかハウス、成田赤十字病院、筑波大学附属病院・茨城県立子ども病院、日本赤十字愛知医療センター名古屋第一病院）でパイロット事業を実施し、継続的な活動につながっている地域も複数ありました。

②ミール de スマイリング事業

佐賀大学医学部附属病院には月1回、缶詰およびお菓子類などの提供品を送付しており、今期は178人分を届けました。

③付き添い生活応援パック無償配布事業

緊急コロナ禍支援策として2020年10月より開始した「付き添い生活応援パック無償配布事業」は、日本財団「TOOTH FAIRY」から活動資金（819万円/約2500人分）を助成いただくことで、2022年度も順調に配布数を伸ばし、今期は全国の2100家族に応援パックを届けることができました。応援パックを受け取った人の満足度評価の平均は5段階評価の4.5でした。また、チラシを全国のがん拠点病院、小児科中核病院、小児科地域センター600病院へ配布、応援パックに入れる物品を協賛・提供していただいた企業は60社でした。

④付き添い生活サポートプラス パイロット事業

ひとり親家庭を中心に経済的に困窮する付き添い者を対象とした「付き添い生活サポートプラス事業」を実施し、全国の13家族を支援しました。月1回、病院または自宅に生活物資を届けると共に、Amazonギフトカードをお送りする現金支給も始めました。

支援対象者は、病院のソーシャルワーカー等から推薦いただき、面接を行った上で決定する流れを採用し、病院と連携をすることで支援の充実を図っております。

支援対象者とLINEでつながり、必要に応じて交流し、特にひとり親が孤独にならないよう見守りを続け、心の支援につながっています。

⑤付き添い入院クチコミサイト「つきそい応援団」事業

“初めての入院、初めての土地でも、付き添い生活の質を向上させ、安心して病気の子どもの看病に専念できる環境作りをサポートするために、付き添い生活を支える様々な情報を掲載したクチコミサイトを作りたい！”

“付き添い経験者の中で消えていた「知恵」や「知見」を、同じ境遇に置かれたご家族の「安心」と「笑顔」に変えていくためのクチコミサイトを作ろう！”

そんな想いを実現するために、クラウドファンディングを2022年5月から6週間実施。266名の方から、300万円をこえる金額をご寄付いただき、2022年9月30日に「つきそい応援団」をオープンしました。

こちらのサイトは、付き添い経験者の中で消えていた「知恵」や「知見」を、同じ境遇に置かれたご家族の「安心」と「笑顔」に変えていくためのクチコミサイトです。

そして、つらいことのほうが多い付き添い経験が自分と同じ境遇に置かれた誰かの役に立つことで、投稿者である先輩ママたちも元気になって、互いに助け合い、安心と笑顔が無限大に連鎖していくような場も、このクチコミサイトでは提供します。

■病児等を育てる家族に関する調査研究、普及啓発、人材育成、政策提言および連携促進にかかわる事業

①「付き添い白書」調査の実施

2018年1月～2022年12月の期間において全国の小児病棟で入院していた子どもの付き添いをしている・していた家族（母親・父親など）を対象にインターネットによるアンケート調査「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査 2022」を2022年11月25日～2022年12月16日に実施し、3,600名以上の方から回答が集まりました。

今回は、特に小児病棟に泊まり込んで付き添っている当事者の視点から付き添い生活の実態を詳しく調査することを目的としています。

調査結果は、2023年6月に「付き添い白書」という形で報告書にまとめ、国（厚生労働省）をはじめ政策立案にかかわる関係各所に届け、付き添いに関する現行制度の見直しや具体的な対応策を検討する際の資料として役立てていただくほか、この調査に協力してくださった付き添い家族とともに病児とその家族の付き添い環境を見直す検討会の設置等も要望します。

②「付き添いママ&パパ応援 Smiling Family Days～笑顔がつながる日。」実施

“当事者になって初めて知る”付き添い家族の実態について一般の人々にも広く知り、この現状を社会課題として認識してもらうために、母の日（5月8日）から父の日（6月19日）までの6週間にわたり「Smiling Family Days～笑顔がつながる日。」キャンペーンを展開しました。キャンペーン特設サイトを開設するほか、期間中には病気の子どもとその家族を励ますためのイベント、小児医療関係者向けのオンラインシンポジウムを開催しました。以下は、実績となります。

■付き添い家族向けオンラインセミナー

Your School×キープ・ママ・スマイリング

「病気の子どもの学びをどうサポートする？ ～学校の先生や病棟スタッフと協力して親にできること」

■医療者向けオンラインシンポジウム

小児医療関係者×キープ・ママ・スマイリング

「協働推進プロジェクト NPO・地域の力を活用して病気の子どもとその家族をもっと笑顔に！」

■一般向け啓発イベント

一青窈さん×キープ・ママ・スマイリング

「トークショー&ミニライブ ～音楽のチカラで病気の子どもを育てる家族を元気に！」

■一般向け啓発イベント

佐賀・九州サポーターズ×キープ・ママ・スマイリング

「SAGA の笑顔をつなげる日。～地域のチカラで病気の子どもを育てる家族を元気に！」

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 23,311 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 病児等を育てる家族に対する生活支援事業	①お弁当 de スマイリング事業 (小児病棟、ファミリーハウスで付き添い入院中の家族へのお弁当提供) ②ミール de スマイリング事業 (小児病棟、ファミリーハウスで付き添い入院中の家族への食品提供) ③付き添い生活応援バック無償配布事業 (小児病棟で長期付き添い中のご家族へ「付き添い生活応援バック」を無償提供) ④付き添い生活サポートプラス (子どもが入院中のひとり親家庭・生活困窮家庭への「付き添い生活サポートプラス事業」) ⑤付き添い入院クチコミサイト「つきそい応援団」事業 (Web サイト「つきそい応援団」スタート)	①令和4年4月～毎月1回 ②令和4年4月～毎月1回 ③令和4年4月～毎週2回 ④令和4年4月～毎月1回 ⑤令和4年9月30日～	①マクドナルドハウス せたがや/ふちゅう、聖路加国際病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、佐賀大学医学部附属病院他 ②佐賀大学医学部附属病院 ③小児病棟、ファミリーハウス ④要望のあったご家庭 ⑤Web サイト	①3名 ②2名 ③6名 ④4名 ⑤4名	①1回 20～40名 ②1回 23名 ③全国病院 520 施設 ④毎週 30名 ⑤全国の入院中のご家族	①1,400名 ②178名 ③2,100 家族 ④13 家族 ⑤ー	21,464
(2) 病児等を育てる家族に関する調査研究、普及啓発、人材育成、政策提言および連携促進にかかわる事業	①「付き添い白書」調査の実施 ②「付き添いママ&パパ応援 Smiling Family Days～笑顔がつながる日」実施	①令和4年11月25日～12月16日 ②令和4年5月8日～6月19日	①オンライン ②オンライン、東京都墨田区、佐賀県佐賀市	①6名 ②30名	①付き添いご家族 ②啓発のため全国民	①3,652名 ②ー	1,847
(3) その他、この法人の目的を達するために必要な事業	令和4年度は活動実績なし						0